外断熱・二重通気の住みごこち
ソーラーサーキットの家
SCウインド
ソーラーサーキット®の家にふさわしい高性能樹脂サッシ

取扱説明書

このたびは「SCウインド」をご採用いただきまして、
ありがとうございます。
いつまでも快適にお使いいただくため、
ご使用にあたっての注意事項とお手入れの方法を説明します。

本取扱説明書に出てくる警告・注意事項はご使用前に必ずお読みいただき、
製品を正しく安全にお使いください。

この取扱説明書を、いつでもご覧いただける場所に、
大切に保管してください。

CONTENTS

安全のため必ずお守りください。

**この説明書に示した注意事項は、安全に関する重要な内容です。
人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。内容をよく理解して、本文をお読みください。**

絵表示	意　　味
警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重症を負う恐れがある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。
注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、ドアー、挿入口等で、指を挟まれてけがをする恐れがある内容を示しています。

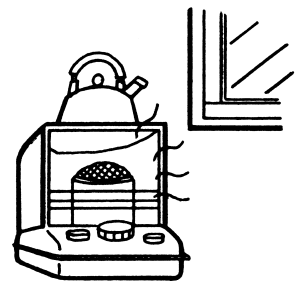
窓まわり

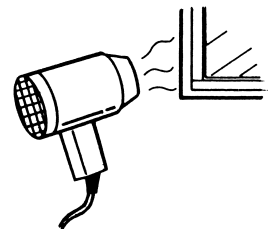
●窓の基本用語の説明

枠	一般に窓外枠のことをいい、縦（外）枠、横（外）枠といいます。 障子の枠は障子枠といいます。
障　子	引違い窓や開き窓の可動部の障子のことをいいます。 開き窓の場合ウィングともいいます。
框	障子枠の縦横部材のことで、それぞれ縦框、横框といいます。

窓１　窓の近くの熱源や火源の注意

■**窓枠は可燃物ですから、直だきストーブなど火源を近づけないでください。**

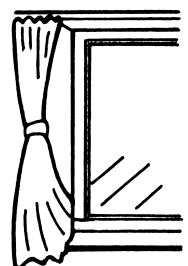
●材質は耐候性硬質塩化ビニール製ですから、着火しにくく、また自己消化性がありますが、不燃物ではありません。

■**窓のすぐそばにストーブやドライヤーなど熱源を置かないでください。**

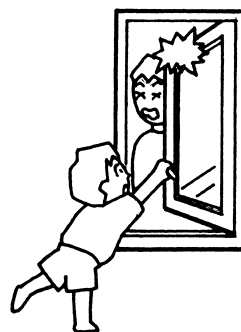
●ストーブやドライヤーなどが直ぐそばにあり、高温・高熱に長時間さらされますと、変形したり、焦げたりすることがあります。

窓２　窓を開閉する時の注意

■**開き窓などの開閉操作は、故障やケガを防ぐため、ハンドルの脇に貼ってある説明ラベル（P4）に従って正しい操作をしてください。**

■**窓に異物をはさんだまま開閉操作をしないでください。**

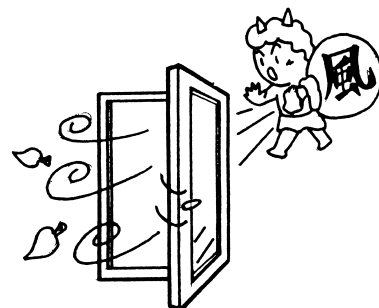
●カーテンや雑巾など異物をはさんだまま開閉しますと、変形したり壊れたりすることがあります。

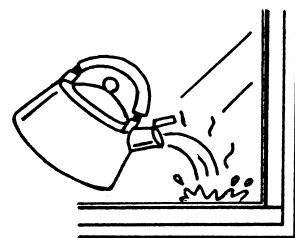
●開閉時は、ハンドルと窓枠の間に指をはさまない様ご注意ください。

■**引き違い窓や上下スライド窓は、断熱・気密性を高めるため、開閉がやや重くなっていますので、しっかりと操作してください。**

■**外開き窓を開けるときは、外に人がいないことを確認してください。また、身体を外に乗り出して操作をすることになりますので、特に、お子様やお年寄りの場合、外に転落したりすることのないように十分ご注意ください。**

■**内倒しのドレーキップ窓を操作するときは、カーテンや家具などに当てないようにご注意ください。**

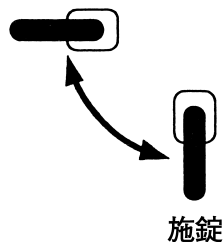
■**風雨の強い時は、家の中の全ての窓をしっかり閉めてください。**

- どこかの窓が開いていたり、しっかり閉まっていなくて隙間などがありますと、吹き抜けの状態になり、そこから風雨が吹き込む恐れがあります。

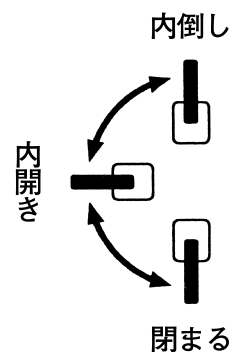
- **開き窓やドレーキップ窓は、しっかり閉まっていないと、風にあおられて勢いよく開き、人や物にあたり、ケガをしたり、壊れたりする危険性があります。**

- 特に風雨の強い時は、引き違い窓などでは、下枠レールと障子スライド部分のわずかな隙間からでも雨水が室内側に洩れてくることがありますので室内側下枠レール部分に雑巾などをあてがってください。

■**冬季に窓に凍りついたときは、無理に開けようとしないでぬるま湯をかけるなどして、融けるまで待ってから操作してください。**

ハンドルの操作方法

ハンドル操作方法

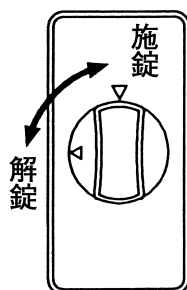
注意

※窓を閉める時は必ずハンドルを水平にして手前に引き、ゆっくりとしめて下さい。
※開閉時には指を挟まないよう注意願います。

ハンドル操作ラベル
外開き、テラスドア

ハンドル操作方法

注意

※ハンドルを閉の位置（▯）のままで閉めないで下さい。
※ハンドル操作の際は必ず窓を閉じた状態で行って下さい。

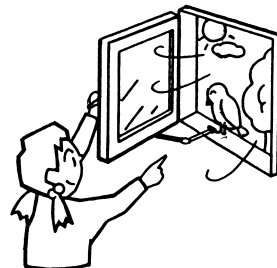
ハンドル操作ラベル
ドレーキップ

鍵の使用方法

※施錠する時は、台座とサムターンの矢印を合わせて下さい。

鍵の操作ラベル
テラスドア

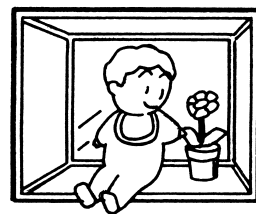
窓 3　その他安全上の注意

■気密性の高い窓ですから、換気を十分に行なってください。

- 断熱性が高く結露の起こりにくい窓ですが、室内に洗濯物を干すなどすると、室内の湿度が非常に高くなり、思わぬ結露の原因になりますので、換気を十分に行なってください。
- 直だきストーブを使う場合は、室内の空気が汚れやすいので、強制的に換気を行なってください。

■ガラスに物をぶつけたり、寄りかかったりしないでください。

- ガラスが割れて、ケガをする危険性があります。

■出窓や手すりに子供を乗せないでください。

- 転落の恐れがあります。

窓 4　破損や不具合のときは

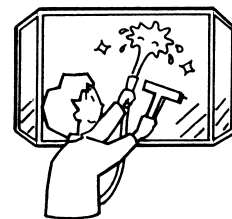
ガラスや金具の破損、その他不具合が生じたときは、工事店・販売店または当社にお問い合わせください。
下図の通り窓に貼付けられた製品ラベルの「規格品名」、「窓品種」、「S/N」、「サッシ寸法」、「ガラス寸法」を必ず確認して御連絡ください。

規格品名:
窓 品 種:　S/N:　∞PVC　SCウインド
サッシ寸法:　ガラス寸法:
製造元:株式会社エクセルシャノン　MADE IN JAPAN

窓5　窓の清掃等取扱上のご注意

直接外気に触れていますので、日頃の手入れを怠ると、付着した大気中のホコリなどが湿気や雨水の影響で枠やガラスにこびりつき、汚れが目立ちます。特に、下枠の隅など汚れのたまりやすい場所は、定期的に汚れを取ってください。

①窓ガラス

特別なお手入れの必要はありません。手早く簡単に行いたいときは、ガラス全体に外から水をかけた後、市販されているT字型のゴムヘラ（車のワイパーに似ています）でこするように拭き取ると、汚れがきれいに取れます。汚れがひどいときは市販のガラスクリーナーをお使いください。ただし、ガラスクリーナーを使用する場合は、次の②の注意を守ってください。

②窓枠

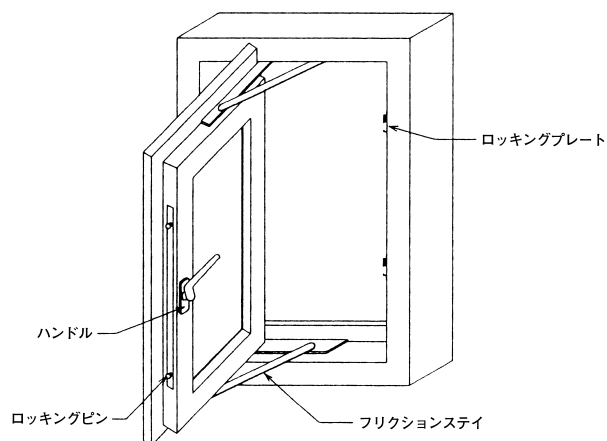
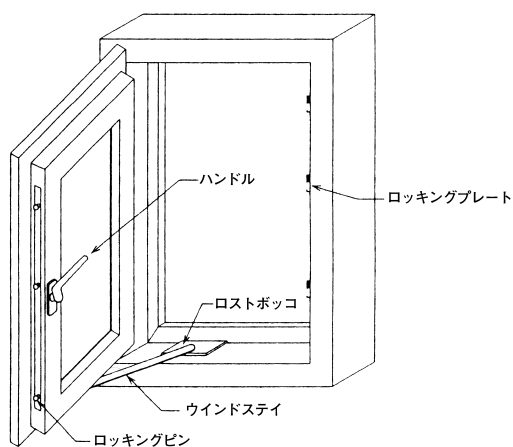
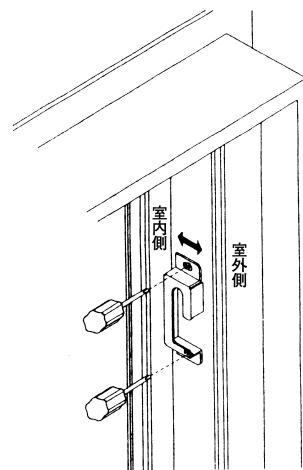
- 窓枠が汚れたり、ゴミが付いた場合は、水拭きもしくは、中性洗剤水溶液（１％以下）を用い、柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- スチールタワシ等の硬いものは、樹脂を傷つけますので使用しないでください。
- 有機溶剤やこれらを含む製品（ガラスクリーナー、殺虫剤、防錆剤、防カビ剤、漂白剤等）の枠材への直接のご使用は避けてください。
- これらを使用した場合、カラー部分が白化したり、クラック（細かいひび割れ）を発生させるおそれがあります。
- 有機溶剤は枠及びガスケット等の気密材を溶かしますので絶対に使用しないでください。

〈有機溶剤系その他で、枠材に悪影響を及ぼすものの例〉

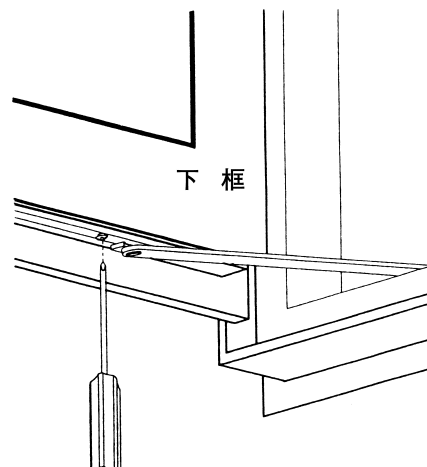
①酸性物質（塩酸、硫酸、硝酸、酢酸、蟻酸等）　②アルコール系溶剤（メチルアルコール、エチルアルコール、他アルコール類）　③ハロゲン化炭化水素系溶剤（クロロホルム、塩化メチレン等）　④ケトン系溶剤（アセトン、メチルエチルケトン等）　⑤芳香族系溶剤（ベンゼン、トルエン、キシレン等）　⑥脂肪族炭化水素系溶剤（ヘキサン、灯油等）⑦その他（シンナー等）

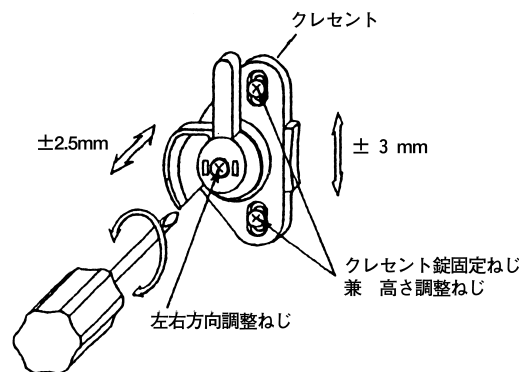
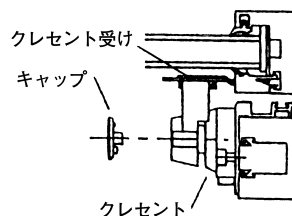
窓6　窓の調整方法

縦すべり・外開き・テラスドア

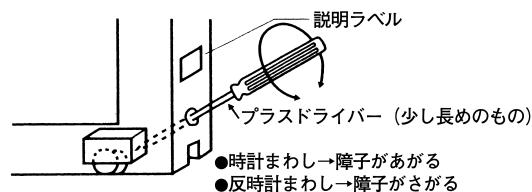
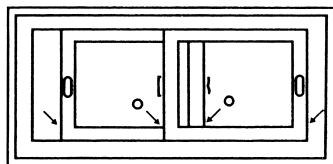
使用金具類の説明

●**ハンドル操作調整**
ハンドルの施錠操作が重い時は、窓側のロッキングプレートを調整して下さい。
プラスドライバーを用いて、取付ビスをゆるめ、金具を室外側に移動させて下さい。

※外開き、テラスドアの場合
●**窓の開閉力調整**
ウインドステーの裏側のねじを、少し先の細いプラスドライバーで調整して下さい。

◆ネジを締める：開閉が重くなる。
◆ネジをゆるめる：開閉が軽くなる。

※下枠くつずりタイプのドアは、障子の上にウインドステーが取付けてあります。

■クレセントが固いとき

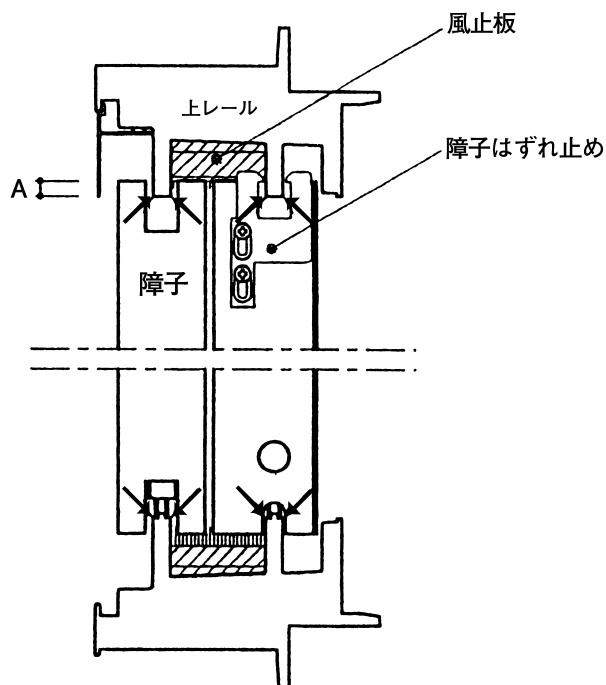
クレセントとクレセント受けのかかりが悪いときは、プラスドライバーでクレセントを調節してください。

■開閉が重いとき…戸車の調整を行ってください。

1）障子の下部左右に穴があります。その中にある戸車調整ビスを少し長めのドライバーで調整してください。調整ビスは障子穴よりもいくらか下側についています。

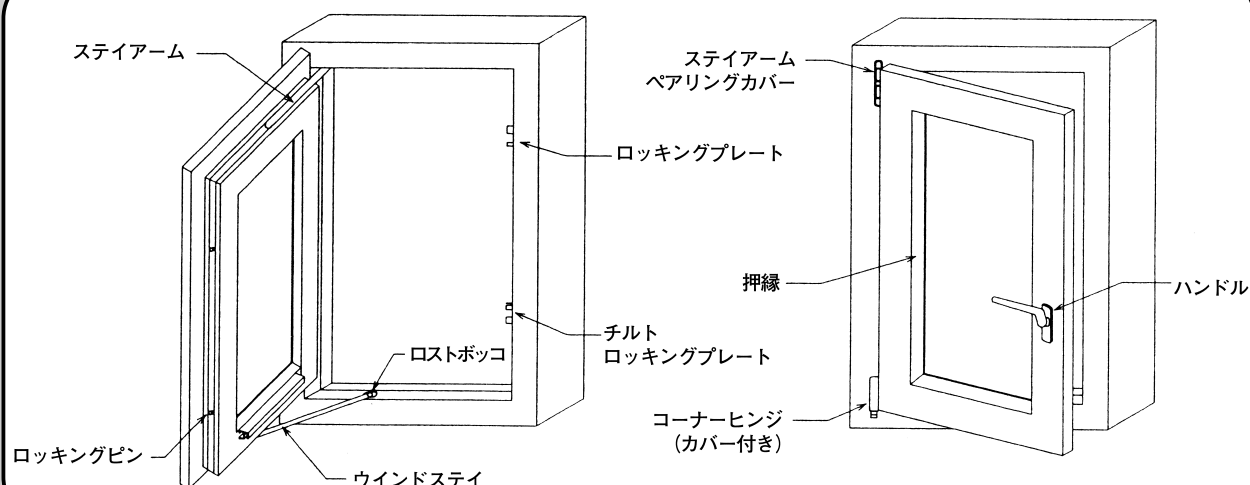
※矢印部分に戸車調整の穴があります。○部分の穴にはキャップがありますので、調整時に取り外してください。

2）障子を上下させ、障子とレールのかかり代を下記の目安で調整して下さい。

※障子を外して掃除する時は、窓枠上部中央部の風止板を外し、障子外れ止めを下げると障子が外せます。

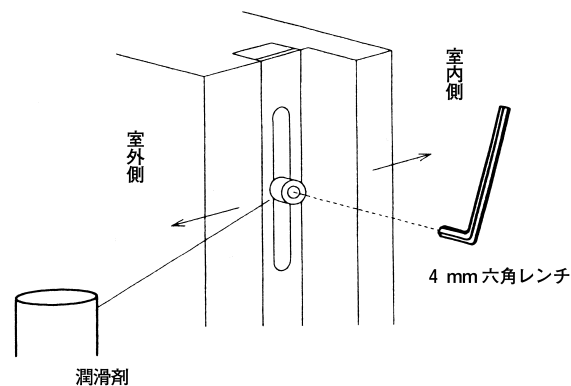
※かかり代の目安：

A＝6 mm以上

3）シリコン離型剤を上記図の矢印部分にスプレーしてください。

※スプレーは塗料店、金物店等で販売しています。機械油など粘りの強い油は避けてください。

ドレーキップ

●ハンドル操作調整

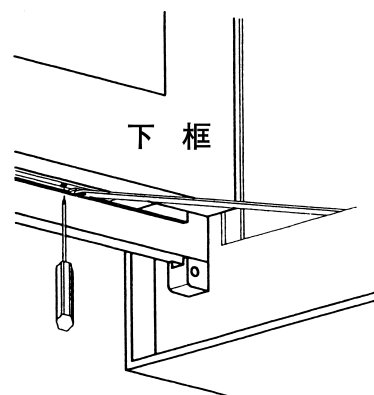
1) ハンドルの施錠操作が重い時は、ロッキングピンの調整ネジをまわして調整して下さい。ロッキングピンは偏芯軸になっていますので、

◆室内側へピンを移動：締めつけが強くなる
◆室外側へピンを移動：締めつけが弱くなる

※使用工具
各部品の調整部（ネジやピン）には２種類の形状があります。
形状を確認して下記の工具をご使用下さい。

ピンの形状		
使用工具	六角レンチ　4 mm	トルクスレンチ　T15

2) ロッキングピンとコーナーヒンジに注油して下さい。（年に１度以上）

●窓の開閉力調整

ウインドステイの裏側のねじを、少し細いプラスドライバーで調整して下さい。
◆ネジを締める：開閉力が重くなる
◆ネジをゆるめる：開閉力が軽くなる

網　戸　ま　わ　り

網戸1　ロール網戸

操作方法・使用上の注意

■ロール網戸のコードで子供が遊ばないようにご注意ください。
コードが手や首にからみケガや死亡事故を起こす恐れがあります。

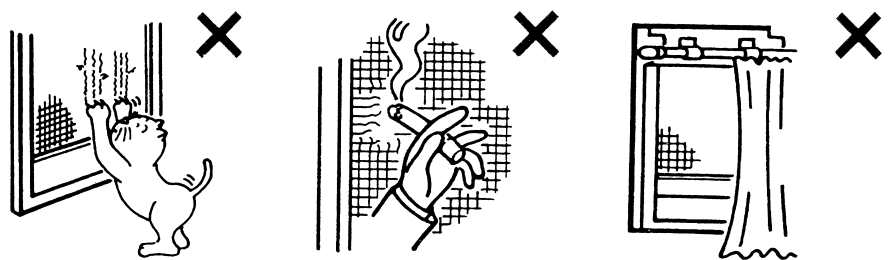
■ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。
網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。

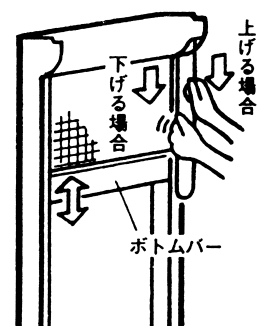
お願い！

■犬や猫などのペットが、爪でネットを引っ掛けないようにご注意してください。

■お子様が本製品で遊ばないよう、ご注意してください。

■ネットには火気を近づけないでください。

■製品本体にはブラインド用のブラケットやカーテンレール取付けのためのネジは止めないでください。ネット破損の原因になります。

■網戸を下ろす場合は奥側のコードを引いてください。

■網戸を上げる場合は手前のコードを引いてください。

■網戸を完全に下まで下ろした状態でさらに奥側のコードを引くと操作が逆になって破損の原因になります。
（操作が逆になってしまった場合は手前のコードを引き続けると正常に戻ります。）

■網戸を下げる時、ボトムバーを持って下げないでください。

■無理な開閉や乱暴な取扱いをすると、網戸を破損するばかりでなく思わぬケガの原因になりますのでご注意ください。

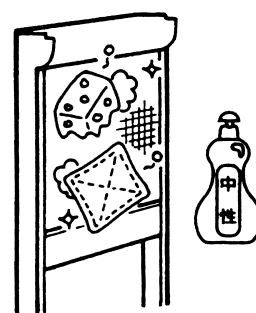
日頃のお手入れの注意

網戸は汚れがひどくなると風通しも悪くなります。
こまめに掃除を行ってください。

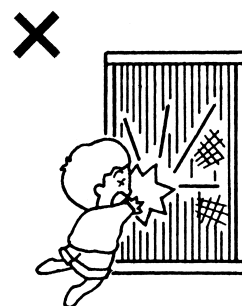
■ハタキなどで軽くホコリを取り除いた後、柔らかい布、又はスポンジで水洗いしてください。

■たわし、金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。破損やキズの原因になります。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、又はスポンジで洗ってください。次に真水で洗い流し、必ずカラ拭きしてください。

■変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。

網戸2 スライド網戸

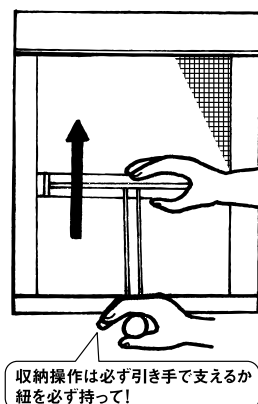
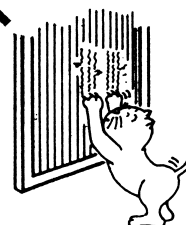
使用上の注意

■ネットに寄りかかったり、押したりしないでください。網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。

■網戸の開閉に異常を感じられた際は、施工業者若しくは最寄りの代理店・工務店にお申し出ください。

■お客様ご自身で網戸の調整や修理はしないでください。指を挟んだり、思わぬケガや事故につながる恐れがありますので、絶対にやめてください。

〈縦使い用について〉

■スライドバーを上げる際、**必ず**紐や引手で支えながらバーを上へ動かし、ネットを収納してください。バーが勢いよく上がった場合、紐やボールがサッシや額縁に当たって跳ね返り、身体に当たる恐れがあります。

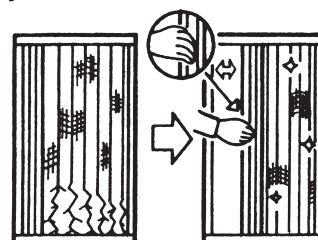
お願い！

■犬や猫などのペットが、爪でネットを引っ掛けないようにご注意ください。

■お子様が本製品で遊ばないよう、ご注意ください。

■ネットには火気を近づけないでください。

■ネットがクシャクシャになった場合は、開閉動作を行って戻してください。

■強風時には使用しないでください。

■長時間ネットを出したままにすると収納性が悪くなります。使用しない時にはこまめに収納するようにしてください。

■無理な開閉や乱暴な取扱いをすると網戸を破損するおそれがありますので、開閉はゆっくり行ってください。

日頃のお手入れの注意

■ハタキなどで軽くホコリを取り除いた後、柔らかい布、又はスポンジで水洗いしてください。

■たわし、金属ブラシなどで、ネット部分、アルミ枠をこすらないでください。破損やキズの原因になります。

■汚れがひどい場合には、中性洗剤をぬるま湯で溶かして、柔らかい布、又はスポンジで洗ってください。次に真水で洗い流し、必ずカラ拭きしてください。

■変色・変質の原因となりますので、お手入れの際には、シンナー、ベンジン、アルコール、磨き粉、酸性・アルカリ性洗剤などは使用しないでください。

■網戸レールにホコリやゴミが溜まると、網戸がスムーズに開閉しなくなります。掃除機などでこまめに取り除いてください。

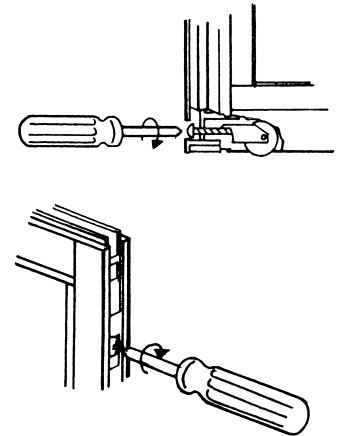
網戸3　パネル網戸

使用上の注意

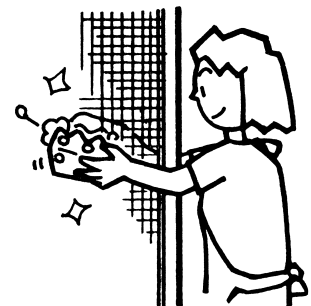
■網戸に寄り掛かったり、押したりしないでください。
網戸のはずれ、落下、転落事故等につながります。

建付けの調整方法

■はずれ止めが機能していないと強風時や開閉時に脱落する恐れがあります。左右のはずれ止め調整用ビスをゆるめ、はずれ止めをサッシ上枠レールに軽く当たるまで上げ、ビスを締めつけます。

■縦枠と網戸の間にすき間が生じた場合戸車の調整用ビスをドライバーで回すことにより、戸車を上下することができます。

日頃のお手入れの注意

■網戸の汚れは、両面から乾いたスポンジをあて、同時に動かすと、ホコリが吸着します。この場合、スポンジに水をつけないのがコツです。

■汚れがとれにくいときは、中性洗剤を含ませた柔らかい布またはスポンジで拭いてください。この時、網が外れないように気をつけてください。

商品保証について

本商品に関し、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理を行なうことをお約束するものです。保証期間中に故障、損傷などの不具合（以下、「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの建築会社様、工務店様または販売店様に修理を依頼ください。

■保証期間　建築会社様よりの引き渡し日（注1、注2）から2年間
ただし、商品からの雨水浸入については10年間。
（注1）　改修工事の場合は、改修部分の工事完了の日とします。
（注2）　分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主様への引き渡しの日とします。

■保証内容　取り扱い説明書、本体ラベルまたはその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。
なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることがありますが、これは商品上の特性であり不具合ではありません。不具合といえる雨水浸水は、サッシ下枠を越えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。（詳細は下記「水密性について」をご参照ください）

■免責事項　保証期間内でも、次のような場合には有料修理となります。
①住宅用途以外で使用した場合の不具合
②当社の手配によらない第三者の加工、組み立て、施工、管理、メンテナンスなどに起因する不具合
（例えば、海砂や急結材を使用したモルタルによる腐食。食器用中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食。工事中の養生不良に起因する変色、腐食など）
③表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所に取り付けられた場合の不具合
④建築躯体の変形など商品以外の不具合に起因する商品の不具合
⑤商品または部品の経年変化（使用に伴う消耗、摩擦など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）またはこれらに伴うさび、かびまたはその他の不具合
⑥商品周辺の自然環境、住環境などに起因する結露、腐食またはその他の不具合
（例えば、塩害による腐食。大気中の砂塵、煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガスなどが付着して起きる腐食。異常な高温・低温・多湿による不具合など）
⑦天災、その他の不可抗力（例えば、暴風、豪雨、高潮、地震、落雷、洪水、地盤沈下、火災、津波など）による不具合またはこれらによって商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合
⑧実用化されている技術では予測することが不可能な現象またはこれが原因で生じた不具合
⑨犬、猫、鳥、鼠などの動物に起因する不具合・虫害
⑩引き渡し後の操作誤り、調整不備または適切な維持管理を行わなかったことによる不具合
⑪お客様自身の組み立て、取り付け、修理、改造（必要部分の取りはずしを含む）に起因する不具合
⑫本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合または使用目的と異なる使用方法による場合の不具合
⑬犯罪などの不法な行為に起因する破損や不具合
⑭強風時の飛来物、または人為的な飛来物による損傷または不具合

＊　次のような消耗部分は有料となります。

ガラスパッキン、タイト材、モヘヤ、風止め板、外れ止め、振れ止め、ホールプレート、小口カバー、障子ストッパー、戸当り、戸車、操作つまみ、水抜き具、網戸の網、網押さえロープなどの合成樹脂製部品

＊　保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。
＊　この「商品保証について」は、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証内容についてご不明の場合は、当社にお問い合わせください。

水密性について

●SCウインドの水密性（等級）

水密性（等級）	引違い窓	W-4（35等級）
	ドレーキップ窓・外開き窓	W-4（35等級）
	上下スライド窓	W-3（25等級）

■試験法：JIS A4706-1996（1713窓使用による実測値であり、保証値ではありません）

●水密性とは
風を伴った雨のときに、屋内への雨水の浸入をどの程度防げるかを示す性能で、W-1、W-2、W-3、W-4の順に水密性が高くなります。雨水の浸入は降雨量よりも風圧力が深く関係しています。

■必要等級の目安［JISグレード（JIS A4706、A4702）］

等級	W-1	W-2	W-3	W-4
用途	市街地住宅			
		郊外住宅		

●一般的な住宅の場合
住宅に必要な性能はJIS等級では目安としてW-2等級もしくはW-3等級が必要となっています。
水密性の試験条件は過酷な気象条件を想定したものです。
例えば、W-2等級とは1時間あたり240mmの降水量に、風速、16m/s程度の風が吹いてもサッシから雨水が浸入しない状態であり、W-3等級では風速20m/s程度の風が吹き込んでも雨水が浸入しないということになります。

システム開発・資材供給

株式会社ソーラーサーキットの家

〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-26-1（横浜アーバンビル8階）
TEL:045-508-6640 FAX:045-508-6631

● 各説明図・イラスト等はイメージであり、印刷の関係で、実際とは異なる場合があります。
● ソーラーサーキット®は登録商標です。
● 品質改良のため、仕様、外観は予告なしに変更することがあります。
● このカタログ内容についておわかりにならない場合には直接当社へおたずねください。

お客さまのお住まいの実際の設計、施工、メンテナンスは、当社のソーラーサーキット®の実施権を受けた契約工務店が実施いたします。詳しくは契約工務店にご相談ください。